

6月定例会 6/16～7/7

生活が苦しいときこそ、くらし応援の市政を!

6月議会が16日から22日間の予定で開かれます。日本共産党市議団は、経済危機の大波をうけて苦しめられている市民の暮らしを応援する立場で議案審議をすすめるとともに、4人全員が総括質問をします。

◇ ◇ ◇

補正予算の内容は、法人市民税の還付に9億円、小規模社会福祉施設のスプリンクラー設置助成に1億2000万円、国保会計で出産一時金4万円引き上げに860万円、水道配水北部ルート建設に1億4000万円などです。これに加えて政府の補正予算関連の追加議案が予定されています。

◇ ◇ ◇

またその他の議案では、静岡駅前美術館条例や地域まちづくり推進条例の制定、公共施設の指定管理者など24本が提案されています。

◇ ◇ ◇

日本共産党市議団は6月議会にさいして、地域産業経済活性化対策特別委員会の設置や、意見書案として国直轄事業費負担金廃止、核兵器廃絶にむけた提案をする予定です。

日本共産党 静岡市議会議員団

ニュース

2009-No.6

日本共産党静岡市議会議員団

議員控室 TEL 054-254-2111
(内) 4541
FAX 054-272-4695

アドレス http://www.jcps.jp/
メール yksf5@jcps.jp

議長に申し入れ

政務調査費の不適切な使い方改め議会の活性化を



政務調査費は、会派の調査・研究のために支給されています。

が、公私の区別がつかないガソリン代や通信費として議員個人に月3万円支給されています。(共産党は支給せず)

共産党市議団は、5月20日市議会議長に対し、政務調査費の使途を明確にするよう、6項目の申し入れを行いました。

内容は、ガソリン代など公私の区分のつかない支出や町内会の懇親会費など不適切な支出を止め、海外視察の自粛、議会運営に関して、総括質問は議員平等の原則から1人30分にするなどです。

市民に疑念を持たれることのないよう、議会の透明性確保に力を尽くすことこそ議会の取るべき姿勢です。

5月13日市議団は、平和団体などとともに、今年もホビーショーへの自衛隊の「参加・協力」に対し、市長と開催本部宛て要請書を手渡し交渉しました。地域産業発展のためのホビーショーの意義は認めるが、市が補助金を支出していることから市民が理解協賛できるものであること、ホビーショーに人殺しの道具はそぐわないこと、自衛隊の「参加・協力」は再検討することなど申し入れました。市側は、要請の趣旨は開催者によく伝える、開催本部は、

市と主催団体に申し入れ

ホビーショーへの自衛隊参加協力は中止を



申し入れの内容を今後十分に生かして行きたいと答えました。

6月定例会会議日程

- 会期 6/16～7/7 (22日間)
会場 静岡庁舎本館
- 本会議 6/16(火) 午前10時より
 - 総括質問(3日間) 午前10時より
6/25(木)、6/26(金)、6/29(月)
 - 常任委員会
6/30(火) 午前10時より
総務委員会、上下水道教育委員会、
生活文化環境委員会
 - 7/1(水) 午前10時より
厚生委員会、経済消防防災委員会、
都市建設委員会
 - 本会議 7/7(火) 10時より

※詳しい日時はお問い合わせ下さい。

「生活保護について
「債権管理対策」について



内田隆典 議員
29日(月)

生活保護について
子どもの医療費助成について



鈴木せつ子 議員
26日(金)

子どもの貧困について



山本明久 議員
26日(金)

駿河区バス路線について



寺尾 昭 議員
25日(木)

会場 静岡市庁舎・本会議場

日時 6月25日から29日
午前10時より

6月議会の質問